これは1991年にシュトゥットガルトで行われた博士のインタビューです。マーティン•サンドバーガー氏は元親衛隊隊員であり、アインザッツグルッペAの特別コマンド1a、治安警察、SDを含む国内治安のさまざまな部門の責任者である。

博士、インタビューありがとうございます。第三帝国と戦争中のあなたの経験についていくつか質問したいと思います。 SSにいたと聞きました。このサービス部門を選んだ理由は何ですか?



博士サンドバーガー氏: 残念ながら、SS が私を選出したのではなく、SS が私を SS に選出したのではないかと思います。私は初期から NSDAP のメンバーであり、総統の支持者でした。私は在学中にSAに加入しましたが、主に勉強に重点を置き、政治は二の次でした。私の家族は社交的な家族だったので、非常に高い地位にある人も含め、多くの人を知っていました。

私たちが選挙に勝利してドイツを率いることが明らかになったとき、私はその状況に適応する方法を探し始めました。
友人や知人はRFヒムラーの周りで私の名前を使い始め、ヒムラーは私に会うように求めました。私たちはベルリンで昼食をとり、ドイツに対する彼のビジョン、宗教と親衛隊についての個人的な見解について説明しました。私は彼の知性と、健康で生産的で理想主義的な社会についてのビジョンに非常に感銘を受けました。私はアルゲマイネ親衛隊への入隊を受け入れることに同意し、そこで国家安全保障の法的側面を担当しました。私は親衛隊の短剣を受け取り、昇進し、多くの役職や階級に就きました。黒い制服を着ることは、新政府におけるエリートの地位の象徴でした。

親衛隊隊員として、あなたは党と提携している店で割引、美味しい食事、一流の医療を受けました。家族も丁寧に対応していただき、何の心配もありませんでした。人生は恐れることなく順調で、親衛隊は非常にプロフェッショナルなビジネス組織でした。

ニュルンベルクでは親衛隊は犯罪組織に分類されていますが、この判決を支持しますか?

博士サンドバーガー: いいえ、ニュルンベルクは私たちの戦争を扱ったすべての裁判と同様、法的な茶番劇でした。私たちは非合法な基準によって裁かれ、西洋諸国の基礎となったすべての法律に反するものでした。連合国は、45 年 5 月までは犯罪ではなかった行為に対する告発をでっち上げました。彼らは、ホスト国に宣戦布告した外国人を排除するなど、帝国と同じ行為を行った。裁判で使われた証拠の多くはよく言っても疑わしいもので、弁護側の手を縛られており、反証される可能性もあった。それは正義を装った連合国の復讐行為であり、無知な大衆の拍手喝采を受けて無実の人々を殺害した。



私は明確な良心をもって皆さんに言えますが、私たちは組織として、また政党としての評判を傷つけるようなことは何もしていません。戦争の勝者は、裏切り者や卑怯者を利用して、私たちの運動と軍隊の歪んだ歴史を構築するのを助けるために、歴史の自分たちの側で働くために55年間を費やしました。

SS は非常にエリートで名誉ある男女の幹部でした。私たちは神、先祖、そして私たちの

人々と私たちはヨーロッパのために死ぬか敗北するまで戦いました。私は、親衛隊が告発されているすべての犯罪は公平かつあらゆる側面から捜査されなければならないと信じています。 Oradour-Sur-Glane、Le Paradis、Malmedy、その他多くの企業は、法的根拠が不安定なようです。親衛隊では、上からの正当な命令や手続きがない限り、捕虜や民間人を射殺することは慣例ではなく、許されませんでした。



戦後、私は博士に会いました。親衛隊の弁護士仲間であるモーゲン[写真左] は、連合国の要求について非常に懸念を抱いていた。当時彼は、単に私生活に戻り、戦争にもう関わりたくないという理由で、主張の一部に同意した。確かに我が軍の中に腐敗した者もいたが、一般的に我が軍は少数の例外を除いてあらゆる分野で善良に行動してきた。私たちの軍隊がヨーロッパ中を走り回って、私たちが気に入らない人たちを殺したという話は、まったくの間違いです。あなたは、さまざまな観点から複雑な個別の事件を取り上げ、それを不適切な国家政策として取り上げています。より多くの人が興味を持ち、これらの主張を調査し始めると、別の真実が現れ、広まると私は信じています。

あなたは東部戦線やバルト三国にいたと思いますが、非ドイツ人に対してどのような経験をしましたか?

博士サンドバーガー: 私はテロリストやスパイから帝国を守る RSD に勤務していましたが、その仕事の一部は国境内で敵と戦う同盟国を支援することでした。私はバルト三国で働き始めましたが、ボリシェヴィキの支配が 1 年間続いただけで何が起こるか不安でした。私がエストニアに到着したとき、もちろんユダヤ人問題に対処しなければなりませんでした。ソ連が侵攻したとき、最初の措置の一つは、忠実なユダヤ人を利用してキリスト教徒やソ連に反対する可能性のある者を追放することであった。私たちが解放した地域でソ連を攻撃したときも、同じシナリオが展開されました。ソ連とともに撤退しなかったユダヤ人は、民兵や怒った民間人によって追い詰められ、殺されました。

これはエストニア、ラトビア、リトアニア、ポーランド、ロシアでも起きた。ユダヤ人たちは、自国民に対する行いに怒った地元民兵によって一斉検挙され、処刑された。私はこれらの殺害に関する報告書を提出しなければなりませんでしたが、その後、勝者たちはそれを使って殺害の責任を私たちに押し付けました。私は介入し、権力を利用して無実の人々を殺害した何人かの民兵の逮捕を命令しなければなりませんでした。戦争遂行のために彼らの協力が必要だったので、私たちは彼らを解放するよう圧力をかけられました。これらの国々はすべてのユダヤ人が国外に出国することを主張した。彼らはユダヤ人の解放を要求した。私たちは残りのマルクス主義者を含むすべてのユダヤ人を逮捕しなければならず、全員が尋問され、多くが東部に再定住し、何も悪いことをしていないユダヤ人を帰還させるよう市長を説得しました。私が強調したいのは、多くのユダヤ人は、私たちや彼らが住んでいる国の人々に対して何もしていなかったので、放っておかれ、自由に生活を送っているということです。

ユダヤ人問題が敵の殲滅によって解決された後、私は働きに行き、これらの地域の再建を手伝いました。私たちは教会を再開し、新しい学校を設立し、国家社会主義を人々に近づけるために専門知識を提供しました。何万人もの人々が戦いに参加するために群がり、さらに多くの人々が帝国で働き、より良い給料を得るために去りました。ソビエトには多くの同盟国がこれらの国々に侵入して私たちをスパイしていたので、私たちは常に警戒していなければなりませんでした。破壊工作員やスパイを捕まえると公開処刑され、残念ながらそうしなければならないことがよくありました。

ある地域を解放した後、私はロシアに移住し、破壊されたインフラの再建を支援する仕事に就きました。ソビエトはすべてを破壊しましたが、

私たちが退却を余儀なくされたとき、私たちの軍隊はそれを報復しました。これは敵からすべての快適さと資源を奪うために行われました。民間人にも被害を与えた。私たちが戦争しているのはロシア国民ではなく、ボリシェヴィズムであることは誰の目にも明らかだった。私たちは彼らのプロパガンダを修正するのに20年かかり、脆弱な後方地域を攻撃する隠れたテロリスト集団に対処しなければなりませんでした。

私の仕事は、福祉チームが活動するエリアを確保することでしたが、それは大変な仕事でした。これらの人々はテロ攻撃の主な犠牲者であり、その多くは最終的にユダヤ人となった。これらの犯罪者の蛮行の一例としては、1942 年に再建中の診療所を占拠するために看護師を乗せたバスが町に連れてこられたことが挙げられます。バスがハイジャックされ、看護師全員が殺害された。

性器に血や精液が付着していたために、誘拐され強姦された形跡を示した人もいた。地元のSD事務所は犯人を見つける任務を負っており、多額の報奨金が提供され、情報提供者たちが活動した。情報提供者は関係者の名前を明かし、彼らは追跡され、集中的な取り調べのために連行され、殺人罪で起訴された。

それはソ連兵、ユダヤ人、その他我々の敵対者からなる大きな集団であった。私は、有罪判決が支持されるのであれば全員を処刑するよう命じた。彼らは処刑され、これらの殺人者を隠したり、餌を与えたり、保護したりした者は全員裁判にかけられ、労働収容所に送られた者もいた。私たちは何度も何度も、私たちの同盟国や私たちに敵対するこれらの人々（その大部分はユダヤ人でした）と戦いました。逮捕された場合、彼らは裁判にかけられ、私たちの決定を統治する法律に基づいて刑を宣告されることになります。

ラインハルト•ハイドリヒと一緒に仕事をしたことがありますか？もしそうであれば、どんな印象を持ちましたか？

博士サンドバーガー: はい、彼は私の上司でしたし、彼について悪いことは何も言えません。彼は非常に献身的な指導者であり、国家総統 SS ヒムラーと同じビジョンを共有しました。彼が誰を無視しても、私たちの命令に従って手紙を書いたことを覚えています。ポーランドでの戦闘終了直後、党指導者の要請により、東ドイツの都市の警察署長からファイルを受け取ったのを覚えている。1939年、15歳のドイツ人少女が、国民から物品を奪うために不法に国境を越えてきたポーランド人に強盗され、強姦された。ポーランド人は彼女を見て攻撃し、あまりにも激しく殴ったため、彼女は特別な治療のためにベルリンに連れて行かれなければならなかった。彼女は妊娠したが、出産するには若すぎ、レイプの結果に耐えることを強制するのは罪であるという理由で中絶が承認された。

男は1940年に逮捕され尋問されたが、彼女への暴行は認めたが、強姦は否認した。裁判官は彼に懲役刑を言い渡した。ハイドリヒさんは男の即時処刑を命じ、少女に加えられた危害には正義と終結が必要であるとして遺族の寛大さの訴えを拒否した。男性は両親と同居していたため、ハイドリヒさんは、遺体を引き取りたければ遺体の移動費用を負担し、そうでなければ火葬し、遺灰はゴミ箱に捨てるよう命じた。

ハイドリヒは連合軍の工作員によって殺害されたが、彼らは現在、彼がチェコ国民に対してひどい仕打ちをしたために彼を殺害したと主張している。それは全くの嘘です。彼が保護領に送られたのは、国総統が彼が人道的であり、戦争遂行を支援するためにチェコ国民を団結させることができると考えたからである。それは非常に成功し、生産性が向上し、人々は満足しました。親衛隊総統は、ハイドリヒとの幸せを伝える手紙を受け取ったとさえ自慢した。それくらい彼は優秀だった。



私たちの敵によって教育され、訓練されたエージェントが彼を殺害するために派遣されました。これによって彼の良い仕事に終止符が打たれ、国民が私たちと協力することについてもう一度考え直すことを期待していました。彼らはまた、エージェントに対するあらゆる報復を広めるだろう。彼らはそれを行い、私たちがリディツェという町を壊滅させたと非難しました。しかし私は連合国のいかなる主張にも懐疑的である。それらは間違っているか、誤って伝えられています。要するに、彼は優れた指導者であり、善良な人間だったから殺されたのだ。

機動部隊の行動はどうなるのでしょうか？あなたもその一人だったと聞きましたが、これらのグループがユダヤ人やその他すべての望ましくない人々を追い詰めて殺害し、その過程で最大100万人が殺害されたと教えられました。

博士サンドバーガー: はい、ホロコーストの全容はいつか私たちにかかっていますが、覚えておいてください、殺されたユダヤ人の数が間違っているのと同じように、私たちが殺した犯罪者の数は100万人には遠く及ばず、もしかしたら数千人かもしれません。私たちの仕事は、国家と勢力圏を守ることでした。私たちは世界で最も強力な 3 か国と戦いましたが、彼らは私たちに大いに反対する可能性があります。彼らの戦争の一部は、人民を扇動して我々に抵抗するよう工作員を派遣することであった。繰り返しますが、彼らは犯罪的なやり方で戦い、軍人であれ民間人であれ、私たちを助けてくれた人を標的にしたと言わざるを得ません。

私たちは彼らの攻撃の結果をよく目にしました。老若男女、民間人、召使、民兵、軍人が惨殺されたのです。私たちがユダヤ人の身元を特定して追跡できるように逮捕するよう命令すると、多くの人が沼地に逃げ込み、時には数百人に上るソ連主導のギャングに加わった。



作戦に参加した隊員たちはこれらの動物を追跡し、狩り、発見された場合は戒厳令の下で処理されなければならなかった。

アインザッツグルッペンのメンバーは前線の背後でパルチザンを探しています。ハイドリヒは1941年7月2日付の通信で自分たちの活動を次のように定義している:「当面の目標は、治安警察による新たに征服された地域の平定である。」軍隊の安全が優先された。

私たちはこれらの犯罪者の処刑を公然と写真に撮りましたが、それは自分たちを自慢したり美化するためではなく、私たちが相手にしているのは誰なのかを世界に示すためでした。これは多くの人を骨折させるほど難しい仕事でした。精神的に非常にタフでなければならず、なぜそれが行われたのかを理解し、常に獣の犠牲者のことを考えなければなりませんでした。今日、ドイツ国防軍の将校の中にはこれらの処刑を見て動揺した人もいたと言われていることを私は知っています。彼らは連合国の同情を得るためにいくつかの話を美化したのだと思います。確かに、これらの処刑は見るのが難しく、この任務を遂行しなければならなかった男性たちに同情しましたが、正義を求める犠牲者がいることを私たちは常に忘れていませんでした。

あまりにもひどかったので、親衛隊総統は幹部らと面会して、これが大変な仕事であることを理解してもらわなければならなかった。しかし、私たちはこの人たちを手放すわけにはいきませんでした。
逮捕されて有罪と認定されると、彼らは罰せられなければならず、多くの場合、それは自らの命を絶つことを意味しました。つまり、テロと闘い、占領地の犯罪者に裁きを受けさせることが、すべての機動部隊の任務であった。

1943年に行われた大規模な作戦についてお話しましょう。連合国のプロパガンダがギャングたちに私たちが撤退していることを知らせたため、彼らは私たちを助けてくれる人への攻撃を強化しました。エストニア国境近くの村に製材所があったが、地元のロシア民兵組織が占拠した。彼らは村の再建を手伝い、私たちと協力してくれました。テロ組織が彼らを攻撃し、全員を殺害した。子供も、女性も、そして

犬。これは湿地帯の境界に沿った多くの攻撃のうちの 1 つでした。その後、彼らは到達するのが困難な密集した地域に隠れました。

私たちは地元住民、民兵、ドイツ国防軍、警察など、利用可能なすべての軍隊を動員しました。私たちはドイツ空軍の援助を受けて、さまざまな方向からやって来ました。私たちは何百人もの山賊とその家族がいる大きなキャンプを見つけました。大砲、爆撃機、小型の T26 戦車が参加する大規模な戦闘が続きました。ギャングは解散し、ほとんどが戦闘で死亡し、残った男たちは処刑された。女性たちは子供がいない限り労働収容所に送られ、子供がいる場合はただ一緒に走っていれば赦免される。

私の担当分野では、テロリストを制御するのが得意だったので、新たな脅威が出現すると、新たな任務が私を待っていました。

ヒムラー総統に対する印象はどうでしたか？



博士サンドバーガー: 私はいつも彼を尊敬していました。私たちは常に同意していたわけではありませんでしたが、彼は常に提案や他の視点を受け入れてくれました。それが彼を偉大なリーダーにしました。彼は誰に対しても敬意と優しさを持って接した。彼は働き者だったのを覚えていますが、休暇や遠出も楽しんでいたのです。表面的には彼は反宗教的であるように見えましたが、彼と一緒に仕事をすればするほど、彼が反宗教的であるのは単にユダヤ人が神の言葉を覆し、ねじ曲げたからだということが分かりました。

彼らは神に選ばれた者たちと呼ばれ、私たちの教会に彼らに同意するよう圧力をかけ、ユダヤ人が悪いことをしたとしても、それは何らかの形で神にとって正しいことなので、私たちも目をつぶるべきだと教えました。これは、彼が親衛隊に対して修正したかったことの一例です。それは、国民をルーツに戻し、教会の誤った教えから遠ざけることでした。私は敬虔なクリスチャンであり、親衛隊は決して宗教に対してではなく、私たちを滅ぼすために私たちの信仰を利用する悪魔の子供たちに対して向けられたものであることを理解していました。

これがヒムラーの使命であり、国民に自分たちが誤解されているということを理解させることだった。親衛隊は、彼の目をより真実な信仰と生き方に開かせる先駆者でした。

彼はイギリス軍の手で亡くなりましたが、私は彼が自ら命を絶ったという話を信じません。連合国についてあまりにも汚いことを話しすぎたために殺されたのだと思います。彼は、強制収容所が実際に何のためにあるのか、どのように爆撃され、何千人もの囚人が亡くなったのかを直接知っていました。ガス室は嘘だったということ、帝国への爆撃が戦争最後の月に収容所システムを崩壊させ、数千人が死刑を宣告されたことについて。彼はユダヤ人をパレスチナに送り、アラブ人と協力して健全な移行を実現するためにシオニストとのパイプを開いていた。私たちが今日持っているものを見てください、それがいつか戦争につながるでしょう。

ユダヤ人が強制収容所に送られたことに罪悪感を感じますか?

博士サンドバーガー: いいえ、違います。私がこれをはっきりと言える理由は、今日の人々は、これらの連合国が私たちの反応を引き起こすために私たちに何をしたかを知らないからです。私たちはユダヤ人の成功に嫉妬し、彼らは私たちより賢いので彼らを標的にしただけだと言われていますが、これは真実ではありません。彼らはドイツでは非常に小さなグループでしたが、国の権力と富のほとんどを握っていました。

彼らがここに至るまでの過程に何か問題があった。概して、彼らの道徳は私たちの道徳とは相容れませんでした。彼らはあらゆる種類の汚物を持ち込み、それを私たちの若者に押し付けました。総統が彼らを追放すると、彼らは我が国に宣戦布告し、すぐに海外のドイツ人を殺害し、我が国を再建する我が国の努力を妨害し始めました。

ロシアとの戦争が始まったとき、このすべてが頂点に達しました。私たちは多くの地域を解放したので、私たちに抵抗するユダヤ人を元の場所に送り返すことが合意されました。私たちの最終的な計画はすべてのユダヤ人を排除することでしたが、戦争中、多くのユダヤ人がドイツに忠誠を誓い、心から私たちを助けたいと思っていることがわかりました。これにより、誰が残り、誰が去るべきかを決定する必要があったため、私たちはジレンマに陥りました。



彼らは公然と私たちに反対し、ペンで戦争を仕掛けようとしたり、時には妨害工作をしようとしたりしたので、一部の人にとってはそれは簡単でした。スパイ行為、ポルノ、詐欺、窃盗、性犯罪の犯罪者もいた。彼らは転勤のため、または裁判所から課せられた刑に服するために送られました。私たちが占領する地域が増えるにつれて、住民もユダヤ人を排除したいと考えたので、家族を一緒に保ちながら、人道的に家族全員を排除する方法を見つけなければなりませんでした。私たちは彼らを収容するゲットーを作り、再定住まで彼らを収容するキャンプを開設しました。これらはすべて安全で、ほとんどが自発的な方法で行われました。もし私たちが彼ら全員を殺害したいのなら、なぜ彼らを世話するためにすべてのキャンプ、病院、施設を必要とするのでしょうか。アウシュヴィッツには、他の多くの収容所と同様に、デイケアセンター、プール、店、サッカーチーム、病院がありました。

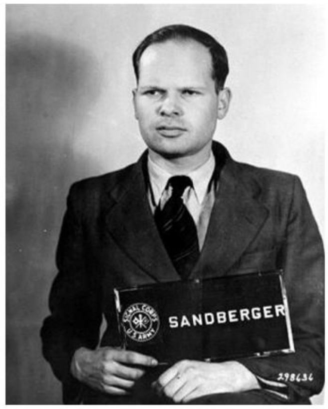
私たちは東に再定住する予定だったユダヤ人を傷つけるつもりは決してありませんでした。命令は、彼らが連れ去られるのを、思いやりを持って見守ることでした。他の方法でこれが起こったとは想像できません。私が死者の責任を負うのは連合国であり、彼らが私たちに彼らの世話をする能力を拒否したからです。ベルゼンは病人でいっぱいの捕虜収容所でしたが、戦争の最後の月に深刻な腸チフスの流行に見舞われましたが、それを止めることはできませんでした。いくつかの地域では、連合国によって釈放された捕虜が民間人に怒りをぶつけ、多くの人を処罰されずに殺害、強姦されたことも付け加えておきたい。今日はそれについてはもう何も聞きません。

アウシュヴィッツでは致命的な大流行が発生し、ヒムラーは病気と闘うために介入し、高度な資格を持った医療チームを投入する必要がありましたが、残念ながら多くの人が亡くなり、彼らは私たちの工場にとって貴重な労働者でした。写真が連合国の歴史と一致しているように見えることはわかっていますが、今日示されているものよりもはるかに多くのものがあります。私たちが望んでいたのは敵の移転だけであり、最終的に何が起こったかではありませんでした。アメリカ人は多くの日本人を定住させたが、彼らは強力な医療従事者と良好なインフラを持っていたため、死亡者はほとんどいなかった。

最後に、この問題についてはこれ以上議論したくないが、多くのユダヤ人は帝国に住んでいたが、まったく性的虐待を受けなかった。彼らは我が国に奉仕し、忠誠を保ち、犯罪を犯しませんでした。軍隊に勤務し、戦争活動を手伝い、工場で働き、兄弟たちが引き起こしたことを非難した人もいた。

彼らはユダヤ人殺害の罪で告発され、死刑を宣告された。法廷にいるときの気持ちを教えていただけますか?

博士サンドバーガー: そうですね、良い時期ではありませんでした、それは言えます。私は義務に忠実な兵士に過ぎなかったので、解放されることを期待して連合軍に降伏しました。私がSDに所属していたので、私は優先人物であり、彼らは私が何をしていて誰と働いているかについての情報を求めていました。同志たちは、連合国は制御不能であり、彼らが私たちを告発した犯罪について合理的な法的根拠がない、と私に警告した。これらの裁判は公式性と真実性を持っているように見えましたが、よく見てみると、復讐、憎しみ、汚い手を使って、私たちが心から反対していることや関与していることを強制的に言わせるための見せしめ裁判でした。



私はエストニアで無実の人々の殺害を命令したとして告発されています。私は行方不明者を殺害したとして告発されました。ユダヤ人、ジプシー、反対者、司祭、牧師、そしてロシア人。いかなる弁護も認められておらず、ソ連はこれらの地域の近くにいないことが確実な人々を連れてくることを許可されていたため、これらの主張は弁護できなかった。弁護士として、私は薄っぺらな証拠と捏造された目撃者をすぐに見抜くことができました。私たちを弁護したい証人はそれを許可されず、法廷は彼らを追い返しました。判例を装ったトータルショー裁判、どの裁判もそんなものだった。

私は人間なので、自分に何が起こっているのか怖かったです。何人かの看守は残酷で私をいじめました。尋問官はしばしば元ドイツ系ユダヤ人で、私たちが追い出し、その後戻ってきて復讐しました。法廷の目には私たち全員が有罪であり、法廷は弁護側に証人への面会や適切な反対尋問を許可しなかったため、弁護する機会はありませんでしたが、それ自体が犯罪です。自分は運命にあるとわかっていましたが、戦争中、国に奉仕するためだけに多くの人が命を落としている中、なんとかこの状況から救い出してくださるよう神に祈りました。死刑判決を読んだときは、私の人生の最低点でした。

幸いなことに、家族が私をサポートすることができたので、私の祈りは聞き届けられ、最初は終身刑に減刑され、その後、さらなる介入により何年も経って釈放されました。

連合国に対して何らかの怒りを抱いていますか？

博士サンドバーガー: もちろん、私と戦争を経験したすべてのドイツ人は、私たちがされたことに対して怒り、憤慨しています。連合国は、我々がヒトラーと戦争にうんざりしており、彼らの「解放」を歓迎していることを示そうとしている。実のところ、戦うべきものが何も残っていなかったので、私たちは降伏しました。戦時中のニュース映画で歓声を上げる群衆や幸せな子供たちが映っているのを目にするかもしれませんが、これは演出されたプロパガンダです。私は最後までそこにいましたが、ドイツ国民は「解放」とは何の関わりも持ちたくありませんでした。なぜなら、私たちはそれが何を意味するかを知っていたからです。主な犠牲者は我が国の女性たちで、飢餓を武器として性的接待を得る連合軍兵士によって強姦され、搾取されました。

アメリカではGIがドイツ人女性をトロフィーとして取り上げ、アメリカ人の妻と別れたため、多くの結婚生活が破綻したと聞いた。これが公開されたら、アメリカにとって永遠に目障りになるだろう。私たちは決してこの戦争をしたくありませんでした。それはイギリスによって強制されたもので、イギリスは私たちを戦争から解放しませんでした。アメリカは我々の敵ではなかったが、ルーズベルトはドイツの友人にはならないと明言した。彼は不法にイングランドを支持し、その結果彼の資源が我々の資源に対して使われ、

場合によっては発砲もあった。多くの人が彼を批判しているが、総統が宣戦布告したとき、彼は我が国の海軍に合法的に反撃する機会を与えただけだった。

ボリシェヴィズムとの戦争は、どこかの時点で起こらなければならなかった。私たちの情報は彼らが私たちへの攻撃を計画していることを示しており、私たちが最初に彼らを打ち負かしました。ヨーロッパはいつか我々に感謝するだろう、なぜなら我々は負けたとはいえヨーロッパを牽制し、西側同盟国が運河への進軍を阻止したからである。ボリシェヴィキの目的は常に世界征服を達成することであったため、イギリスと我々が弱体化すると、スターリンはヨーロッパ全土への侵略を計画した、というのが私の確固たる信念であり、ある亡命者が私に語った。

弱く、愚かで、腐敗した指導者たちは、ヨーロッパ人が徐々に物質主義と怠惰に屈しつつあることに気づかず、強くて健全で統一されたヨーロッパという私たちの計画を破壊しました。彼らは自国の人々のことをますます気にしなくなり、世界の他の地域の人口が爆発的に増加する一方で、人口は減少しました。ですから、私は連合国が始めた戦争のことを憎んでいますが、私たちが団結することを願っていますし、ドイツが再統一しつつある今、将来的にはそうなるかもしれません。

治安警察とSDの特別部隊